

2023 年度

ニチキッズさいたま保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023 年 12 月 26 日（火）～1 月 12 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年1月23日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」という保育理念を基本とし、「子どもの主体性」を意識し一人ひとりの子どもに寄り添う保育園づくりをするようにすすめた。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの発達・実情に沿った保育の実践を意識し、保護者・関係機関との連携・情報共有をに努めた。今後も、発達に関して実情を把握し取り組んでいきたい。
保護者に対する支援	保護者が自由に子どもの姿を見られるような行事を開催し保護者との交流に努めた。また、送迎の際の声掛けにより子どもの様子を伝えられるように意識してすすめた。
保育を支える組織的基盤	外部研修・内部研修への参加・定期的職員面談・毎週火曜日職員会議の開催を定着させた。研修に関しては回数を増やして保育の質の向上に取り組んでいきたい。

総評
「子ども主体」を目標に掲げ、「フリー保育」「グループ保育」など、子どもたちが自ら選んで保育ができるような環境を設定・計画して一年間進めてきた。年長児は自分たちで話し合い決定していく中で「聞く」「話す」「助け合う」という力を身につけられた。しかし、配慮が必要な児が急増したことや外国籍の保護者が多く「コミュニケーション」を深めるといった点に苦慮したものの、配慮が必要な児への保育のあり方や外国籍の保護者とのコミュニケーションについて学びは深められた。また、保護者ボランティアによるサッカー保育など地域を巻き込んだ保育の展開について取り組めた。次年度も保護者と協力し合いより開かれた保育園づくりを目指したい。